

コード	402060201
記入日	H25.6.12

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	浜辺 伊三美

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	長崎県グリーンツーリズム推進補助事業
----------	--------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40206	基本事業名称	交流農業の推進	目コード	3
事務事業コード	4020602	事務事業名称	グリーンツーリズム推進事業費	細目コード	1032
関連計画	法令・条例規則等		長崎県グリーンツーリズム促進事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 民泊数		(対象指標1)	8戸			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・幅広い地域から観光客を誘致し、農林業の体験の場を整備することで農林業の振興を図るとともに交流人口の拡大による地域活性化を図る。	・若松B&B（民泊グループ）のソフト事業に対して助成を行った。	補助金交付件数	4件	100%	補助金交付件数÷	平成24年度
		補助金交付件数	1件	100%	補助金申請件数	平成24年度
		① (達成率分析)	若松B&Bのソフト事業について申請があり、補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・幅広い地域から観光客を誘致し、交流人口の増加に伴う地域活性化を図る。		民泊数	21戸	100%	民泊戸数実績÷	平成24年度
		民泊数	8戸	100%	民泊戸数計画	平成24年度
		① (達成率分析)	8戸の民泊実績があり、交流人口の拡大を図った。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 22 ~ H 24		23年度以前	24年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① 件数	4	4	3	1	1	
	②						
成果指標	① 戸	21	21	13	8	8	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	9,906	9,906	8,563	1,343	1,343	
直接事業費 A	千円	5,006	5,006	4,363	643	643	
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700	
内 従事職員数	人	0.7	0.7	0.6	0.1	0.1	
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円					
	起 債	千円					
内 訳	その他	千円					
内 訳	一般財源	千円	9,906	9,906	8,563	1,343	1,343

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	農林業の体験の場を整備することで、農林業の推進を図った。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	体験型観光との連携により、交流人口が増加した。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	必要最小限の事業費で、交流人口が増加した。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	民泊を受け入れしてくれるところが少なく修学旅行など大人数の誘致が困難であるため、民泊実施者 (会員数) の増加を図る必要がある。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	県の補助金を活用しての3カ年計画で、体験型観光との連携により実施した事業である。受け入れ体制の課題等により民泊者数が増加しなかったのが現状である。体験型観光は豊かな自然等を有する本町にとって有効な施策と考えられることから、県補助の計画期間が終了したから本事業は終わるのではなく、今後の展開を図るうえで、課題等を十分に検証すること。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。